

# 各事例の詳細について

平成 22 年 5 月 18 日  
農 林 水 産 省

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過等	検査結果 陽性 (18日未明 判明)
112	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	63頭 (繁殖牛29頭 育成牛6頭 子牛26頭 山羊2頭)	111例目の 農場から 西約1km	・5月15日、農場主から宮崎県対し、飼養牛1頭に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所に送付	3頭
113	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	15頭 (繁殖牛9頭 子牛6頭)	102例目の 農場から 南約250m	・5月15日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛3頭の食欲不振等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎・びらん等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所に送付	3頭
114	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	37頭 (繁殖牛20頭 育成牛2頭 子牛15頭)	84例目の 農場から 北西約850m	・5月15日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛の鼻に異常を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭に流涎・鼻のびらん等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
115	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	108頭 (繁殖牛54頭 育成牛4頭 子牛50頭)	66例目の 農場から 西約2.5km	・5月15日、獣医師から宮崎県に対し、飼養牛の流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭の舌に水疱等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
116	児湯郡川南町	養豚	1,227頭 (繁殖豚100頭 種雄豚4頭 育成豚13頭 肥育豚750頭 子豚360頭)	66例目の 農場から 西約800m	・5月15日、獣医師から宮崎県に対し、飼養豚1頭に乳頭のただれ等を確認したと届出 ・同日立ち入り、1頭の乳房に水疱、びらん等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
117	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	41頭 (繁殖牛23頭 育成牛3頭 子牛15頭)	110例目の 農場から 東約750m	・5月16日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛1頭に流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、4頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
118	児湯郡川南町	養豚	5,488頭 (繁殖豚378頭 種雄豚5頭 肥育豚4,435頭 育成豚49頭 子豚621頭)	73例目の 農場から 北約150m	・5月16日、獣医師から宮崎県に対し、飼養豚4頭に食欲不振等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、2頭の鼻に水疱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	2頭
119	児湯郡新富町	酪農	22頭 (搾乳牛17頭 育成牛4頭 子牛1頭)	101例目の 農場から 南約8km	・5月16日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、5頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	5頭
120	児湯郡川南町	養豚	当該農場445頭 (肥育豚445頭) 関連農場364頭 (肥育豚364頭)	85例目の 農場から 南約1km	・5月16日、獣医師から宮崎県に対し、飼養豚1頭の鼻に水疱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭に水疱・発熱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付  ・当該農場と管理者が同一である関連農場の飼養豚全頭を疑似患畜としました。	3頭
121	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	36頭 (繁殖牛16頭 育成牛3頭 子牛17頭)	102例目の 農場から 北約950m	・5月16日、農協職員から宮崎県に対し、飼養牛に発熱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過等	検査結果 陽性 (18日未明 判明)
122	児湯郡 川南町	養豚	8,617頭 (繁殖豚530頭 育成豚170頭 子豚4,500頭 肥育豚3,400頭 種雄豚17頭)	102例目の 農場から 南東約1km	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月16日、獣医師から宮崎県に対し、飼養豚の鼻等に水泡等を確認したと届出</li> <li>・同日、立ち入り、2頭に水泡等を確認</li> <li>・同日、検体を動物衛生研究所に送付</li> </ul>	2頭
123	児湯郡 川南町	肉用牛繁殖	124頭 (繁殖牛66頭 育成牛2頭 子牛56頭)	102例目の 農場から 北西約800m	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月16日、獣医師から宮崎県に対し、飼養牛1頭に発熱等を確認したと届出</li> <li>・同日、立ち入り、5頭に流涎等を確認</li> <li>・同日、検体を動物衛生研究所に送付</li> </ul>	1頭
124	児湯郡 高鍋町	養豚	3,056頭 (繁殖豚252頭 種雄豚44頭 子豚439頭 肥育豚2,315頭 種雄豚6頭)	101例目の 農場から 南東約1.5km	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月16日、農場主から宮崎県に対し、飼養豚の鼻の水疱等を確認したと届出</li> <li>・同日、立ち入り、1頭に発熱等を確認</li> <li>・同日、検体を動物衛生研究所に送付</li> </ul>	1頭
125	児湯郡 川南町	養豚	8,068頭 (繁殖豚587頭 育成豚99頭 肥育豚4,537頭 子豚2,834頭 種雄豚11頭)	102例目の 農場から 南東約550m	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月16日、獣医師から宮崎県に対し、飼養豚3頭に水疱等を確認したと届出</li> <li>・同日、立ち入り、3頭に水疱等を確認</li> <li>・同日、検体を動物衛生研究所に送付</li> </ul>	3頭
126	児湯郡 川南町	養豚	743頭 (繁殖豚53頭 肥育豚349頭 子豚332頭 種雄豚4頭 育成豚5頭)	100例目の 農場から 南西約1.5km	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月16日、農場主から宮崎県に対し、飼養豚3頭の足に水疱等を確認したと届出</li> <li>・同日、立ち入り、3頭の鼻等にびらん等を確認</li> <li>・同日、検体を動物衛生研究所に送付</li> </ul>	3頭